



千歳市 市民環境部 環境推進室 ゼロカーボン推進課
(左) 係長 日下 健 様 (右) 主任 小嶋 緑野 様



みどり台小学校屋上太陽光発電設備

NTT MEを選ばれた理由

- ・全国実績による高い信頼性と保守体制
- ・地域貢献提案と技術・運用実績を評価

公共施設への再エネ導入を確実かつ安定的に進めるため、技術力と運用実績を備えた事業者を求めています。NTT MEは、全国的な導入実績に基づく高い信頼性、保守体制の充実、地域貢献に関する具体的な提案内容が高く評価できた点から、最も適した事業者として決定いたしました。

今後の展望、NTT MEに期待する事

- ・太陽光＋蓄電池で停電時も昼夜電力確保し安心向上
- ・継続的運営支援と脱炭素・防災力向上に資する技術提案を期待

太陽光発電設備と併せて蓄電池を導入したことで、停電時においても昼夜を問わず電力を確保できる体制が整い、レジリエンス機能が向上し、市民の安心にもつながるものと考えています。今後もNTT MEには、継続的な運用支援サポートに加え、千歳市の脱炭素化と防災力向上に資する新たな技術提案や連携の深化を期待しています。



千歳第二小学校屋上太陽光発電設備

導入の背景

- ・脱炭素目標達成に向け公共施設へ太陽光導入計画
- ・導入可能施設を調査し段階的整備を決定

本市は、2030年度までにCO2排出量を2013年度比で46%削減し、2050年までにCO2排出量を実質ゼロとすることを目標としています。これらの目標の達成に向け、設置可能な市有公共施設の50%に太陽光発電設備を導入するため、令和6年度に太陽光発電設備導入可能性調査を実施し、対象となる公共施設を抽出した上で、計画的に導入することを決定しました。



導入後の効果

- ・発電量・消費量・CO2削減量を可視化し導入効果を実感
- ・発電データを教材活用し次世代の脱炭素意識を醸成

発電量、消費量およびCO2削減量を可視化するシステムも提供されるため、導入先の小中学校では、児童生徒が自然由来のエネルギーや環境負荷低減について学ぶ教材としても活用できます。実際のデータを通じて学ぶことで、次世代の脱炭素意識を育む効果も期待しています。

導入設備の概要

設置場所	・千歳市千歳第二小学校 ・千歳市みどり台小学校 ・千歳市勇舞中学校 ・千歳市子育て総合支援センター
竣工	2026年5月7日
太陽光発電設備容量	合計220kW
年間発電量（見込み）	合計225,000kWh程度
年間CO2削減効果（見込み）	合計96t程度
蓄電池容量	13kWh



千歳市の概要

千歳市は、国立公園支笏湖をはじめとする緑豊かな自然と、清冽な千歳川が流れる自然環境に恵まれたまちです。市域は東西に細長く、面積は594.95km²、東京都23区とほぼ同規模で、4市4町と隣接しています。西部には支笏洞爺国立公園を含む広大な森林・自然公園地域が広がり、東部には牧場や農園が点在する農業地域が形成されています。中央部には空港、商業地、住宅街が集積し、近年は次世代半導体関連企業が進出するなど、経済と環境が調和する都市として発展を続けています。

およそ4万年前に支笏火山の噴火でできた陥没地に水が溜まって形成されたカルデラ湖である「支笏湖」は、全国屈指の透明度と水質を誇り、光に照らされることで「支笏湖ブルー」と言われる青色の輝きを放ちます。支笏湖では春夏秋冬、季節を問わず、観光やアクティビティ、各種イベントを楽しむことができます。

◇ 千歳市公式ホームページ :<https://www.city.chitose.lg.jp/>

お問い合わせはこちら >>